

“ONE FOR ALL, ALL FOR ONE.”

ワールドカップでのサクラジャパンの活躍から、話題にあがることが多くなったラグビー。ラグビーというと、ノーサイド精神とこの言葉が浮かびます。「ノーサイド」を試合終了の意味で使っているのは日本だけということを知ったのは、少し前のことでした。

そして、この言葉は、伏見工業高校ラグビー部を舞台にしたドラマ「スクール☆ウォーズ～泣き虫先生の7年戦争～」でも有名になりました。もとは、デュマの『ダルタニャン物語』、あの三銃士から出た言葉とも聞いたことがあります。研究授業を参観した教室で、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という学級目標や合言葉の掲示を何度か見かけたこともあります。

年末から1月にかけて全国高等学校ラグビーフットボール大会が行われ、《花園》がクローズアップされます。伏見工業高校ラグビー部員でもあった元全日本監督の平尾誠二氏は、「一人はみんなのために、みんなは勝利のために」が正しいと語ったそうです。

「どんなに優秀な選手でも一人でできることには限界がある。しかし、チームになれば、1+1が3にも5にもなる。チームプレイの素晴らしさである。しかし、そこには前提条件がある。一人一人が「勝利⇒花園」に向かって自分の足で立っていること、チームの一員として他のメンバーに甘えたり、寄りかかったりしない、大人の集団であることが必須である。」と。



児童にとって、「勝利（花園）」は、陸上運動記録会でのリレーの自己ベストであったり、哲多地区音楽発表会の合唱や合奏であったり、学芸会の感動であったりすると思います。児童を指導・支援する教職員の我々は、もちろん大人の集団でなければなりません。

まずは、チーム新砥全員が、「勝利⇒目的」を目指して自分の足で立つ。そして、スクラムを組み相乗効果を発揮して勝利をつかみたい（目的を達成したい）と思います。

冬野菜を育て始めました

10月5日（月）、夏野菜づくりが続いて、JAの方のご指導の下、冬野菜を育て始めました。児童達は夏の経験を生かして、手際よく作業しました。

みなで野菜の苗植えと種まきをしたよ
【2年 石川 絆】

今日の5時間目に、冬野菜の苗植えと種まきをしました。植えた野菜は4つあります。

1つめは、ダイコンです。種は赤色です。

2つめは、カブです。青い葉をしていたから、種の色は青色です。

3つめは、ハクサイです。苗は、きれいな黄緑色をしています。

4つめは、ブライトライトです。種は、茶色で、ゴツゴツしています。小石に似ています。

1、2年生は、種まきの仕方だけ、加藤さんに教えてもらいました。まき方は、種が2個のときは、2本の指で軽く土に穴を空けて、種が1個増えるごとに、指で穴を空けるときに、穴が増えていきます。

加藤さんは、優しく、分からないところがあったら、教えてくれて、いい人だなあと感じました。だから、私も分からないことは教えてあげられる人になりたいです。

遠足

9日（金）、全校児童28名は、バスで楽園・岡山城へ行き、午後、岡山県立図書館で合流しました。昔ながらの定番コースではありませんが、かえって、行ったことがない児童もいて新鮮だったようです。高学年が準備した車内レクリエーションで、愛情たっぷりのお弁当の盛り上がり、おいしいお弁当の日でした。



東日本大震災・児童応援リレー 新砥小報告会

「おかやまからふくしまへ・ふくしまから世界へ」

18日（日）参観日、公設国際貢献大学校の学務課長補佐 梶浦悠太先生を講師に迎え、震災後の話を聞いていただきました。4年前、震災後に福島の小学校との交流を体験している高学年はもちろんのこと、下学年も自分のこととして考えることができ、自分のできることを、今後の取組について決意を新たにしました。

【1年 川上 寧々】

地震で避難している人に要る物が、いっぱい出てきました。もし、地震が起こったら、大変だなあと思いました。避難訓練のとき、本気で避難したいです。

【1年 坂本 稜恭】

ほくは、福島県でこんなことが起こったとは、知りませんでした。ぼくがいたら、うまく逃げられないと思います。新砥小学校にいてよかったです。福島県を応援したいです。

【4年 田村 侑誠】

東日本大震災が規模な津波を起こしたことは知っていたけれど、詳しいことは知りませんでした。どんな被害を受けたのか、多くの人が苦しんでいたことなどが分かりました。新砥小学校の今日の放射線が、どれほどあるかなど調べて教えてもらいました。ほくにできることは少ないけれど、放射能被害がなく、福島や東北の人々が早く元の生活ができるようになってほしいと思いました。

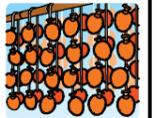
秋祭りのシーズンです。

【2年 妹尾 陽色】
10月27日、天王八幡神社の祭りでした。ほくは、今年初めて頭うちをしました。ちよっと間違えたけど、頑張ったやりました。いろんな家で、太鼓をたたきました。楽しかったです。来年はじょうずにたたきたいです。おやつももらいました。



実りの秋 第2弾

実りを祝う秋祭りが盛んな季節となりました。新砥っ子達の挑戦の結果が届きましたので、第2弾の作品展の入賞者を紹介します。おめでとございました。



【岡山県児童生徒書道展】		【新見市児童生徒徒絵画展】	
佳作：3年	岡田衣丘	特選：5年	石川純
佳作：4年	藤井美空	特選：6年	岡田実果
入選：5年	石川純	佳作：1年	石川純
入選：6年	石川純	佳作：2年	石川純
	石川純	佳作：3年	石川純
	石川純	佳作：4年	石川純
	石川純	佳作：5年	石川純
	石川純	佳作：6年	石川純



新見市学童陸上運動記録会

27日（火）防災公園陸上競技場において、市内5・6年生参加による記録会が行われました。今回は残念ながら、新砥小は男子3名、女子2名、計5名の参加でした。リレーは、急遽、男女混成チームで出場させてもらいました。リレーの自己ベストをはじめ、初めてのオールウェザーグラウンドでの競技に感動した児童もいました。オリフオーワン。自分の力を試した。目的に向かつて一杯取り組み挑戦しました。今参加できなかった児童も新たな飛躍を期待しています。



寺子屋タイムを通して、これまで「仁」「知」「信」について、一通り取り上げてきました。今月は、自分自身の言動と能力を高めて、周りの人々を安心・幸せにすることを切り口に話をしたいと考えています。

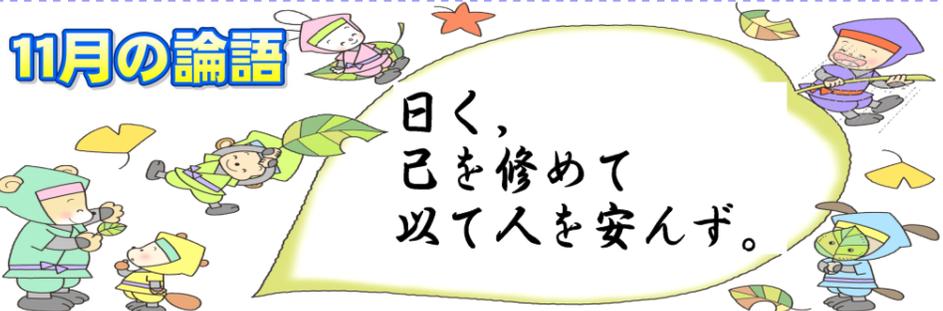
こんな風が吹いています

今、校長室には、論語テーマ「信」に関するノートが届いています。
 【1年 藤本 奈々】
 お母さんに何か頼んだら、すぐに頼んだことをしてくれませんか。お母さんが、言うことは、いつも信じています。お母さんは、優しいです。だから、お母さんみたいになりたいです。そのためには、約束を破らないこと、決められた仕事をすること、頑張ります。

【5年 石川 純】
 Aさんが、私が調子が悪いときや悲しいときに、すぐに来て、「大丈夫？」と聞いてくれるので信じられます。B君が、礼儀正しく返事などをしている、いいなと思います。C君が、掃除のときに相手のことを考えて、手伝ったり、教えたりして、優しい人だなと思います。ジュニア陸上の練習のときに、ハドルで、（私は絶対跳べる。）と信じていくと、いけたので、信じて選挙など、人の信頼で行ったり、決めたり出来るんだと気付きました。私も人を思いやり、人を分かん人になりたいと思います。

11月の論語

日く、己を修めて以て人を安んず。



11月の行事

11月の生活目標
きまりを守ろう

日	月	火	水	木	金	土
1 ニッピー☆チャレンジ ~30日まで 下校時刻	2 体重測定 委員会⑥ 15:50	3 文化の日	4 第6回学び愛 15:00	5 中桐先生音楽指導①② 15:50	6 暫多地区音楽発表会 15:50	7
8	9 クラブ⑥(銭太鼓) 15:50	10 安全・あいさつ運動の日 15:50	11 校内研究支援訪問 15:00	12 集金日 15:50	13 15:50	14
15	16 クラブ⑥(銭太鼓) 15:50	17 4・5年学力定着状況 たしかめテスト 15:50	18 貯金日 6年標準学力調査 ノーメディアデー 15:00	19 15:50	20 15:50	21
22	23 勤労感謝の日	24 15:50	25 学芸会予行 15:00	26 15:50	27 15:50	28 土曜授業 高学年非行防止教室 11:40
29 学芸会 保護者と下校	30 振替休業日	「相手を意識した表現力の育成」を主題に校内研究に取り組んでいます。11日（水）には、市教委の支援訪問があり、2、5・6年の授業公開を予定しています。音楽会に続き、月末には、学芸会も控えています。新砥っ子の思いが皆様に伝えられるよう精進します。				